

都市再生整備計画 事後評価シート  
神戸三宮南地区

平成26年2月

兵庫県神戸市

様式2-1 評価結果のまとめ

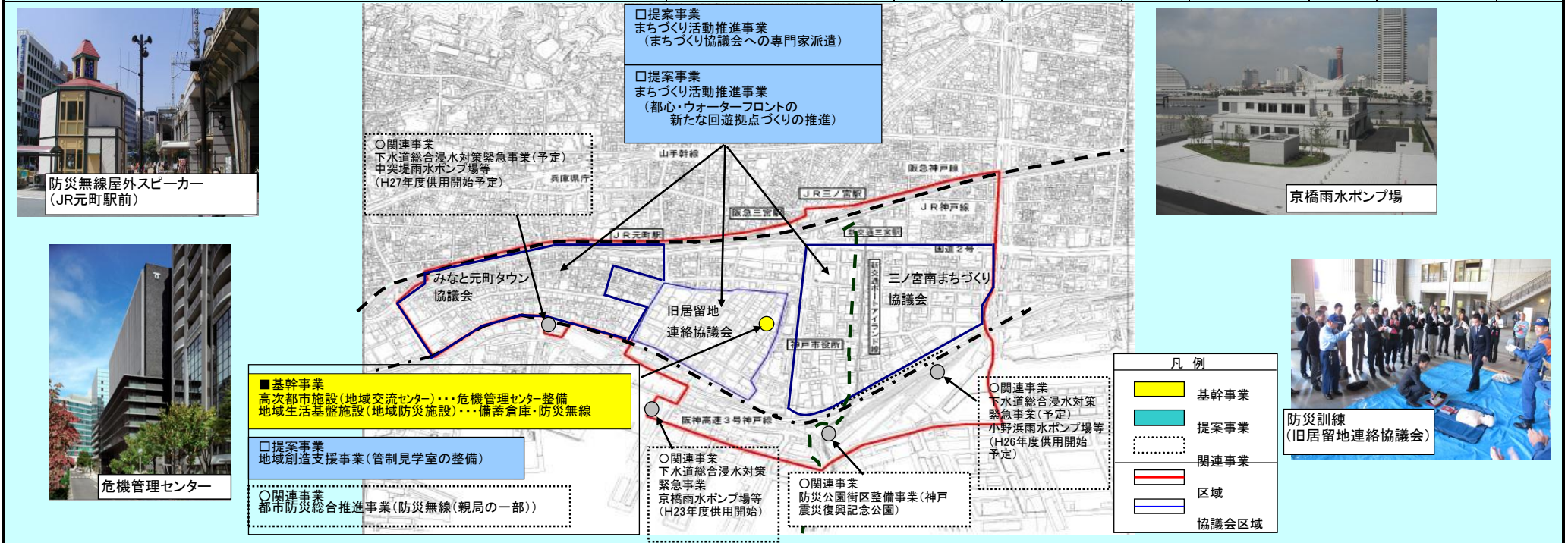
都道府県名	兵庫県	市町村名	神戸市		地区名	神戸三宮南地区		面積	206ha				
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	320.2百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】備蓄倉庫・防災無線、【高次都市施設】危機管理センター										
		提案事業	【地域創造支援事業】管制見学室の整備、【まちづくり活動推進事業】まちづくり協議会への専門家派遣										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】葦合南54号線	削除/追加の理由		関係行政機関及び地元との協議調整に長期間を要することが見込まれ、計画期間内での工事着手の目的が立たなくなったため取りやめる。							
		提案事業	【地域創造支援事業】古川町雨水幹線の整備	削除/追加の理由		関係行政機関及び地元との協議調整に長期間を要することが見込まれ、計画期間内での工事着手の目的が立たなくなったため取りやめる。							
	新たに追加した事業	基幹事業		削除/追加の理由									
		提案事業	【まちづくり活動推進事業】都心・ウォーターフロントの新たな回遊拠点づくりの推進	削除/追加の理由		既存のまちづくり活動支援事業の進捗に伴い必要が生じたため、事業を追加する。							
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	なし											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	市の施策(防災等)に対する満足度	%	29.8	H19	40.0	H25	—	63.3	○	あり	市の防災拠点となる危機管理センターの建設や防災無線の設置、神戸震災復興記念公園の整備、国道2号の冠水対策といったハード対策と市民への防災啓発やまちづくり協議会での防災訓練といったソフト対策の両面により、満足度が増加したと考えられる。 ※アンケート回収率(回答者数) H19: 全市39%(3,907人)、中央区29.6%(245人)、H25: 全市47.6%(4,758人)、中央区36.8%(311人)	—
	指標2	内水氾濫による国道2号の冠水延長	m	1,580	H16	960	H25	—	960	○	あり	京橋雨水ポンプ場等の供用開始により該当流域の浸水対策が完了し、冠水延長が減少した。	—
	指標3	市民救命士講習修了者数	人	600	H19	1,000	H25	—	1,189 2,248	○	あり	危機管理センターの建設に伴い、見学室や防災展示・研修室を整備し、防災セミナーの開催やまちづくり協議会での防災訓練などを通じて、共助による地域の安全性向上の意識が高まり、受講者数が増加したと考えられる。	—
指標4										あり			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
その他の数値指標1													
4) 定性的な効果発現状況	危機管理センターの1階には、「市民に身近な防災学習拠点」として、「防災展示・研修室」及び各種の防災教育コンテンツを整備し、市民に広く開放するとともに、防災学習会(年平均約2回、約340人)、講演会(年平均約4回、約180人)、意見交換会(年平均約94回、約3,600人)などを開催し、地域の防災意識の向上につなげている。また、専門家派遣等の支援に基づくまちづくり協議会の主体的な活動により、新たな建築計画が計画された際の良好な街並みの形成に向けた景観調整(年平均約57件)や、防犯防災講習会(年平均約4回、約120人)を開催するなど、まちづくりへの地域住民の意識向上が図られている。												
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	危機管理センターの基本計画策定に伴い、平成20年5月～6月にパブリックコメントを実施し、頂いた意見を基本計画に反映させた。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後とも市民と協働のまちづくりを進める。						
持続的なまちづくり体制の構築	・旧居留地連絡協議会 ・みなと元町タウン協議会 ・三ノ宮南まちづくり協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● まちづくり協議会の持続的なまちづくり活動を維持するため、今後とも専門家派遣などの支援を行い、良好な街並みの形成、まちの活性化に向けて、さらなる取り組みを進める。							

※注記 危機管理センター(地上9階、地下1階建(延床面積 約9,189㎡))における都市再生整備計画事業の交付対象は、①1階、2階の市民研修室、市民会議室(都市再生整備計画書では、これらの施設を危機管理センターと表記)、②4階の管制見学室、③9階の備蓄倉庫が位置づけられている。なお、①③は基幹事業、②は提案事業。

## 様式2-2 地区の概要

### 神戸三宮南地区(兵庫県神戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 震災の教訓を生かした災害に強いまちづくりの推進、及び神戸の都心にふさわしい風格のある魅力にあふれた都市空間の創造 目標1 ○全市の防災活動の拠点となる防災中枢拠点の形成、及び都心地域にふさわしい防災力の強化 目標2 ○神戸の都心にふさわしい風格のある街並みの形成	市の施策(防災等)に対する満足度	単位: %	29.8 H19	40.0 H25	63.3 H25
	内水氾濫による国道2号の冠水延長	単位: m	1,580 H16	960 H25	960 H25
	市民救命士講習修了者数	単位: 人	600 H19	1,000 H25	1,189 2,248 H25
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	危機管理センター、京橋雨水ポンプ場等の整備や市民への防災啓発、まちづくり協議会での防災訓練などにより、地区内の防災力強化及び安全性向上など一定の効果は得られた。建築計画時に景観に関する計画調整を実施したことにより良好な街並みの形成が図られるとともに、まちの魅力アップにつながった。また、都心・ウォーターフロントの新たな回遊拠点の創出の意義について、まちづくり協議会等と共通理解を醸成するとともに、地域の連携体制の形成が図れた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	今後も更なる防災力強化及び安全性向上を目指して、課題として残されている国道2号の冠水区間(延長960m)の全面解消及び歩道幅員の拡幅等による安全な避難路の確保(JR三ノ宮駅周辺～神戸震災復興記念公園)などに取り組むとともに、新しく整備した施設や既存施設の適切な維持管理及び市民や事業者への防災啓発活動を推進する。また、「デザイン都市・神戸」を具現化するため、都心・ウォーターフロントの交通については、「人」中心の交通環境に再構築し回遊性を図り、まちの魅力・活力を高める方針としている。そこで神戸の都心にふさわしい風格ある街並みの形成に資する新たな回遊拠点を整備し、オープンカフェを設置するなど、人々が憩いたたずむる空間として、地域のにぎわいづくりを行う。さらに、まちづくり協議会への専門家派遣など地域への支援を行うことにより、都心にふさわしい景観形成に引き続き取り組んでいく。

※注記 危機管理センター(地上9階、地下1階建(延床面積 約9,189㎡))における都市再生整備計画事業の交付対象は、①1階、2階の市民研修室、市民会議室(都市再生整備計画書では、これらの施設を危機管理センターと表記)、②4階の管制見学室、③9階の備蓄倉庫が位置づけられている。なお、①③は基幹事業、②は提案事業。